

幾何公差・最大実体公差[Ⓜ] 図面と非接触3次元測定

協力) 浜松工業技術支援センター

2016年3月の幾何公差に関するJIS改正に伴い、モノづくりの規格である「製品の幾何特性仕様（GPS）」への早期対応を製造企業に促しています。

国外ではGPSが既に普及していますが、日本ではこれまで寸法公差で図面を描いてきたので、現在でも寸法公差で形体を定義している図面が見受けられます。

GPSで描かれた図面はデータム（基準）が明確で図面の解釈が一義的です。

そこで本訓練コースでは幾何公差を学習しグローバルな機械図面について学び、3次元測定機で幾何公差の評価を演習します。

■ 講座開催日……………令和5年8月21日(月)、22日(火)

■ 対象者……………機械設計、生産技術、品質管理に携わる在職中の方

■ スケジュール

実施日	時間	場所	内容
1日目	9:00～16:00	浜松技術専門学校	寸法公差と幾何公差について 幾何公差の図示表記と定義 データム、平面度、真円度、円筒度、平行度、直角度 位置度、同軸度、対称度、輪郭度、振れなど
2日目		浜松工業技術支援センター	最大実体公差 (Ⓜ ; MMC) 3次元測定機で穴の測定と公差の評価 非接触3次元測定機による測定と形状評価 X線CT計測による測定と形状評価

※上記内容は変更になる場合があります。

■ 講師……………公立大学法人静岡文化芸術大学 名誉教授 工学博士 望月達也
(研究分野: CAD/CAM/FP、デジタルモデリング (3D Modeling)、デジタルものづくり、機械設計製図)

■ 定員……………5名

